

窪田由紀教授 略歴・研究業績

[学 歴]

- 昭和46年4月 京都大学文学部入学
- 昭和50年3月 京都大学文学部哲学科心理学専攻卒業（文学士）
- 昭和50年4月 九州大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士前期課程入学
- 昭和52年3月 九州大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士前期課程修了（教育学修士）
- 昭和52年4月 九州大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士後期課程入学
- 昭和55年3月 九州大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士後期課程単位取得後退学
- 昭和55年4月 九州大学教育学部研究生（昭和58年3月まで）
- 平成18年3月 東亜大学大学院総合学術研究科 博士（学術）

[職 歴]

- 昭和57年6月 北九州市立デイケアセンター臨床心理士
- 昭和58年4月 日本学術振興会奨励研究員（昭和58年4月末まで）
- 平成5年4月 九州国際大学法経学部助教授
- 平成6年4月 九州国際大学法学部助教授（改組による）
- 平成10年4月 九州国際大学法学部教授
- 平成16年4月 九州産業大学国際文化学部臨床心理学科教授
- 平成23年10月 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授

[学会活動]

- 平成21年12月 日本心理臨床学会社員（平成24年3月まで）
- 平成22年4月 日本学生相談学会理事（平成24年3月まで）
- 平成25年5月 一般社団法人日本心理臨床学会社員（現在に至る）
- 平成26年5月 一般社団法人日本心理臨床学会理事（平成28年5月まで）
- 平成27年1月 一般社団法人日本教育心理学会常任編集委員（現在に至る）
- 平成28年5月 一般社団法人日本心理臨床学会業務執行理事（現在に至る）
- 平成28年12月 日本学校メンタルヘルス学会評議員（現在に至る）
- 平成29年5月 日本ストレスマネジメント学会理事（現在に至る）

[臨床心理士関連]

- 平成6年4月 福岡県臨床心理士会運営委員（平成9年3月まで）
- 平成9年4月 日本臨床心理士会代議員（福岡県選出、平成12年3月まで）
- 平成12年4月 福岡県臨床心理士会副会長（平成18年3月まで）
- 平成18年4月 日本臨床心理士会代議員（福岡県選出、平成21年3月まで）
- 平成21年4月 一般社団法人日本臨床心理士会代議員（福岡県選出、平成23年6月まで）
- 平成26年4月 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会倫理委員（現在に至る）
- 平成27年4月 愛知県臨床心理士会理事（平成28年3月まで）
- 平成27年6月 一般社団法人日本臨床心理士会代議員（全国区、現在に至る）
- 平成28年4月 一般社団法人愛知県臨床心理士会代議員（現在に至る）

窪田由紀教授 略歴・研究業績

【社会的活動】

- 平成 7 年 10 月 北九州市教育委員会青少年問題協議会委員、専門部会副会長（平成 9 年 10 月まで）
- 平成 8 年 4 月 北九州市立教育センター嘱託相談員（平成 10 年 3 月まで）
- 平成 8 年 4 月 北九州市精神医療審査会委員（平成 10 年 3 月まで）
- 平成 9 年 4 月 北九州市教育委員会スクール・カウンセラー（平成 24 年 3 月まで）
- 平成 10 年 9 月 キャンパス・セクシュアル・ハラスメント・全国ネットワーク九州ブロック代表（平成 24 年 3 月まで）
- 平成 11 年 9 月 キャンパス・セクシュアル・ハラスメント・全国ネットワーク事務局（平成 12 年 8 月まで）
- 平成 12 年 4 月 北九州市介護保険苦情調整委員会委員（平成 16 年 3 月まで）
- 平成 13 年 4 月 九州大学大学院人間環境学付属発達臨床センター（心理相談部門）面接相談員（平成 24 年 3 月まで）
- 平成 14 年 3 月 特定非営利団体福岡ジェンダー研究所理事長（平成 15 年 6 月まで）
- 平成 14 年 4 月 総務省九州管区行政評価局行政苦情救済推進会議委員（平成 23 年 3 月まで）
- 平成 15 年 7 月 特定非営利団体福岡ジェンダー研究所理事（平成 20 年 6 月まで）
- 平成 15 年 7 月 北九州市教育委員（平成 23 年 6 月まで）
- 平成 17 年 4 月 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム理事（現在に至る）
- 平成 17 年 7 月 社会福祉法人あかつき会理事（平成 22 年 10 月まで）
- 平成 19 年 4 月 社会福祉法人北九州いのちの電話理事（現在に至る）
- 平成 20 年 7 月 特定非営利団体福岡ジェンダー研究所理事長（平成 23 年 6 月）
- 平成 21 年 7 月 文部科学省児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議委員（現在に至る）
- 平成 22 年 4 月 福岡県男女共同参画審議会委員（平成 24 年 3 月まで）
- 平成 22 年 4 月 福岡市男女共同参画センターアミカス運営協議会委員（平成 24 年 3 月まで）
- 平成 22 年 4 月 北九州市男女共同参画センタームーブ運営協議会委員（平成 24 年 3 月まで）
- 平成 23 年 7 月 特定非営利団体福岡ジェンダー研究所理事（平成 27 年 6 月まで）
- 平成 23 年 11 月 愛知県「児童生徒の自殺又は自殺が疑われる死亡事案の調査委員会」委員（平成 25 年 3 月まで）
- 平成 24 年 3 月 名古屋大学減災連携研究センター兼任教員（現在に至る）
- 平成 25 年 8 月 名古屋市立中学校生徒の転落死に係る検証委員会委員（平成 26 年 3 月まで）
- 平成 27 年 7 月 特定非営利団体福岡ジェンダー研究所監事（平成 29 年 6 月まで）
- 平成 27 年 11 月 名古屋市いじめ対策検討会議委員（平成 28 年 9 月まで）
- 平成 29 年 6 月 特定非営利団体福岡ジェンダー研究所理事長（現在に至る）

【賞 罰】

- 平成 23 年 10 月 文部科学省地方教育行政功労者表彰

研究業績

〈編著書〉

1. ジェンダーを学ぶ 1998 堤かなめ・窪田由紀 海鳥社
2. 学校コミュニティへの緊急支援の手引き 2005 窪田由紀・向笠章子・林幹男・浦田英範 金剛出版
3. 臨床実践としてのコミュニティ・アプローチ 2009 窪田由紀 金剛出版
4. 学校における自殺予防教育のすすめ方 2016 窪田由紀編 遠見書房
5. 災害に備える心理教育—今日からはじめる心の減災— 2016 窪田由紀・松本真理子・森田美弥子編 ミネルヴァ書房
6. 学校コミュニティへの緊急支援の手引き第2版 2017 福岡県臨床心理士会・窪田由紀編金剛出版
7. 学校心理臨床実践 2018 窪田由紀・平石賢二編 ナカニシヤ出版

〈分担執筆〉

1. チーム医療と治療スタッフ 1992 山口隆・中川賢幸編集団精神療法の進め方 星和書店(坂口らと共同)
2. 精神障害者のサポート・プログラム 1995 山内隆久編 心のネットワークを求めて—一人間関係事例ノート ナカニシヤ出版
3. 社会的比較 1995 狩野素朗編 対人行動と集団 ナカニシヤ出版
4. 青年期の心身の不適応 1995 柳井修・野島一彦・林幹男編 生活指導の理論と方法 ナカニシヤ出版
5. 人とのかかわり 1999 古城和子編 生活にいかす心理学 ナカニシヤ出版
6. 就業意識とジェンダー 2002 須藤廣編 高校生のジェンダーとセクシュアリティ 明石書店
7. 対談：危機介入モデルの理論と実際資料『学校における緊急支援の手引きを作成して』 2003 村山正治編 コミュニティ・アプローチ特論 放送大学教育振興会
8. 学生相談の特徴を伝えるための事例研究 2006 鶴田和美・齋藤憲司編 学生相談シンポジウム—大学カウンセラーが語る実践と研究 培風館
9. 学校における事件・事故 (1)緊急支援 2010 日本心理臨床学会(監修) 危機への心理支援学 遠見書房
10. 学校における事件・事故 (2)学校コミュニティの危機 2010 日本心理臨床学会(監修) 危機への心理支援学 遠見書房
11. 学校における事件・事故 (3)支援者の構造 2010 日本心理臨床学会(監修) 危機への心理支援学 遠見書房
12. 学校における事件・事故 (6)報道被害とメディア対応 2010 日本心理臨床学会(監修) 危機への心理支援学 遠見書房
13. 予防・教育 (2)DV防止教育 2010 日本心理臨床学会監修 危機への心理支援学 遠見書房
14. 学校緊急支援活動におけるアセスメント 2010 松本真理子・金子一史編 子どもの臨床心理アセスメント 金子書房
15. セクシュアル・ハラスメントとミス・コミュニケーション2011 岡本真一郎編 ミス・コミュニケーション—なぜ生じるかどう防ぐか ナカニシヤ出版
16. 学校にせまる危機 2013 速水敏彦編 教育と学びの心理学 名古屋大学出版会
17. いじめと自殺—学校緊急支援の経験から— 2014 富永良喜・森田啓之編 「いじめ」と「体罰」その現状と対応—道徳教育・心の健康教育・スポーツ指導のあり方への提言— 金子書房
18. 心理臨床の倫理 2014 森田美弥子・金子一史編 臨床心理学実践の基礎 その1 基本的姿勢からインターフェイスまで ナカニシヤ出版
19. 心理教育 2015 金井篤子・永田雅子編 臨床心理学実践の基礎 その2 心理面接の基礎から臨床実践まで ナカニシヤ出版(酒井貴庸と共同)
20. 危機への心理的支援—危機介入から心理的支援へ 金井篤子・永田雅子編 臨床心理学実践の基礎 その2 心

窪田由紀教授 略歴・研究業績

面接の基礎から臨床実践まで ナカニシヤ出版

21. 子どもの心理支援に関係する法と倫理 2017 津川律子・元永拓郎編 心理臨床における法と倫理 放送大学教育振興会
22. 家族の心理支援に関係する法と倫理 2017 津川律子・元永拓郎編 心理臨床における法と倫理 放送大学教育振興会
23. 学校における法と倫理 2017 津川律子・元永拓郎編 心理臨床における法と倫理 放送大学教育振興会
24. 自殺予防とアウトリーチ 2017 小澤康司・中垣真通・小俣和義編 緊急支援のアウトリーチ 遠見書房

(論文)

1. 社会的比較行動に及ぼす自己の意見への確信度の効果 1976 九州大学教育学部紀要教育心理学部門, 20, 15-28.
2. 社会的比較過程の理論による討議集団発達過程の分析 1977 九州大学教育学部紀要教育心理学部門, 21, 7-11.
3. Equity理論に関する一考察 1979 実験社会心理学研究, 18, 153-159.
4. 企業組織体における中間管理職のリーダーシップ行動に関する実証的研究 1979 実験社会心理学研究, 19, 1-14. (三隅二不二と共同)
5. 教職員の経歴志向とモラルに関する実証的研究 1998 九州大学教育学部紀要教育心理学部門, 26, 99-108.
6. キャリア・ディヴェロップメントに関する実証的研究—キャリア目標設定の効果— 1981 九州大学教育学部紀要教育心理学部門, 26, 99-108.
7. 職業生活における目標設定の効果に関する実証的研究 1982 実験社会心理学研究, 21, 149-157.
8. デイケア行動評価尺度その後 1982 精神科デイケア研究ふくおか, 1, 82-86.
9. デイケア行動評価尺度共同研究委員会報告—経過報告— 1983 精神科デイケア研究ふくおか, 2, 64-69.
10. 集団活動記録の導入について—メンバー, スタッフ, 外来技術指導者の相互評価— 1983 精神科デイケア研究ふくおか, 2, 64-69.
11. 治療活動としての自治会活動 1985 西日本芸術療法学会誌, 14, 25-30.
12. 現実逃避を繰り返して膠着状態に陥ったケースの拡大家族同席面接精神科 1987 デイケア研究ふくおか, 6, 80-83.
13. デイケアにおける班集団の治療的役割について 1988 集団精神療法, 5, 141-146.
14. デイケア行動尺度評価に関する予備研究—因子分析による視点の明確化および下位尺度を用いてのケース分類の試み— 1988 精神科デイケア研究ふくおか, 7, 88-92.
15. プログラムに見るデイケアセンターの機能の変遷 1988 精神科デイケア研究ふくおか, 7, 65-69.
16. 精神科デイケアにおける心理臨床 1990 教育と医学, 38, 57-63
17. 過去の栄光の中に留まっていた野球少年のデイケア治療 1990 精神科デイケア研究ふくおか, 8, 112-116.
18. デイケアセンターにおける家族援助の再検討 1991 精神科デイケア研究ふくおか, 9, 68-71.
19. リハビリテーションと保健活動—障害の受容をめぐる— 1994 精神科リハビリテーションの立場から公衆衛生, 58, 352-356.
20. 中学校中堅教師が直面する生徒指導上の危機とそのサポート 2018 学校メンタルヘルス, 204-213. (長谷守紘と共同)
21. 精神分裂病者の対人関係に関する一考察 1994 九州国際大学教養研究 1, 1-20.
22. デイケア修了生の継続援助をめぐる—地域ネットワークにまつわる問題— 1995 心の臨床アラカルト, 14, 39-43.
23. 高齢者保健福祉施策と老人保健施設—現状と今後の福祉の課題— 1995 九州国際大学社会文化研究所紀要, 37, 25-52.
24. 友人たちとの擬似家族の中で育ちなおしたA君への援助—学生相談室によるサポートネットワークの構築 1997 心理臨床学研究, 15, 77-88.

25. 都市公団住宅における高齢者の生活と意識—社会的ネットワークの問題を中心に— 1997 九州国際大学社会文化研究所紀要, 40, 47-92.
26. ストレス・コーピングとジェンダー 1998 九州国際大学教養研究, 5, 17-39.
27. セクシュアル・ハラスメントの背景—社会的勢力の概念による「力関係」の分析 1999 —九州国際大学教養研究, 6, 1-20.
28. 子どもたちの心の危機 1999 九州国際大学法学論集, 6, 43-61.
29. コミュニケーションとジェンダー 2000 教育と医学, 48, 58-65.
30. キャンパスにおけるセクシュアル・ハラスメント対策—有効なシステムの構築と運用に向けて— 2000 学生相談研究, 21, 90-99.
31. キャンパス・トータル・サポート・プログラムの展開に向けて—大学コミュニティ全体への統合的アプローチ—の試み 2001 学生相談研究, 22, 227-238.
32. 日ごろの連携から知恵と工夫を結集する—『学校における緊急支援の手引き』を作成して— 2002 教職課程 28, 24-28.
33. 学校臨床のヒント：危機対応 2003 臨床心理学, 3, 419-420.
34. グループの実践：コミュニティ・グループワーク 2004 臨床心理学, 4, 464-469.
35. 考え方と事例：キャンパス・ハラスメントへの対応 2006 臨床心理学, 6, 194-200.
36. 単位制高校における包括的ストレスマネジメント教育の試み 2006 九州産業大学大学院臨床心理センター臨床心理学論集, 3, 3-22.
37. 「荒れた中学校へのシステム・コンサルテーション-臨床心理学的コミュニティ・エンパワメントの視点から 2007 現在のエスプリ別冊事例に学ぶ心理臨床実践シリーズ, 臨床心理地域援助研究セミナー, 56-70.
38. 学校が危機に陥った際の的確な対応—危機対応力を高める— 2008 児童心理, 62(1), 108-112.
39. スクールカウンセリングにおけるストレス・アンケートの活用—教師との協働体制構築のために— 2009 九州産業大学大学院臨床心理センター臨床心理学論集, 4, 3-12.
40. 学校のなかでのコミュニティ・アプローチ 2009 子どもの心と学校臨床1, 15-22.
41. 学校全体を対象にした心理教育の導入・実践過程 2010 心理臨床学研究, 28, 172-183. (荒木史代らと共同)
42. 心理アセスメントを活用した生徒支援プログラム—サテライト開設初年度におけるストレスアンケート実施の実態— 2011 九州産業大学大学院臨床心理センター臨床心理学論集, 6, 3-12.
43. スクールカウンセリングにおける緊急支援 2011 臨床心理学増刊第3号スクールカウンセラー—経験知・実践知とローカリティー, 94-98.
44. 学校臨床における心理教育文献リスト作成の試み 2012 九州産業大学大学院臨床心理センター臨床心理学論集, 7, 35-53.
45. 緊急支援活動の実践事例～生徒の自殺後の中学校への支援 2012 子どもの心と学校臨床, 7, 53-65.
46. 学校コミュニティにおける暴力問題の理解と対応 2013 特集思春期と子どもの暴力子どもの心と学校臨床, 8, 106-114.
47. 予期せぬ出来事にさらされた方々への心理的援助—東日本大震災後のさまざまな取り組みを中心に— 2013 心理臨床名古屋大学心理発達相談室紀要, 28, 3-10.
48. 学校臨床における心理教育プログラムの内容分析その1—ストレスマネジメント教育プログラムの実施目的, 対象, 講義・演習内容, 効果検証法等に着目して— 2013 九州産業大学大学院臨床心理センター臨床心理学論集, 8, 15-31. (山下陽平らと共同)
49. 児童生徒への間接的な支援活動—学校への心理教育の導入・実践に向けての支援を中心に— 2013 特集スクールカウンセリングを知る, 臨床心理学, 13, 642-646
50. 学校におけるいじめ予防—包括的学校危機予防の視点から— 2014 ストレスマネジメント研究, 10, 39-45
51. 児童生徒を対象とした心の減災能力育成に関する研究—現状調査とプログラム開発を中心に— 2014 東海心理学研究, 8, 2-11. (松本真理子らと共同)
52. いじめへの対応：緊急支援 2014 子どもの心と学校臨床, 11, 67-75
53. 心理危機状況の分類と支援の在り方について 2014 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要心理発達科

窪田由紀教授 略歴・研究業績

- 学, 67, 47-154. (渡邊素子と共同)
54. 小学校高学年を対象とした心の減災教育プログラムにおける効果検証—同時効果モデルを用いた呼吸法対処効力感, 認知の修正, 対人的信頼感の検討— 2016 学校メンタルヘルス, 18, 147-153. (鈴木美樹江らと共同)
 55. 成人を対象とした心の減災教育プログラムの開発とその効果 2016 人間と環境電子版, 12, 1-11. (吉武久美らと共同)
 56. 学校危機時における教師の反応と臨床心理士による緊急支援 2016 心理臨床学研究, 34, 316-328. (樋渡孝徳らと共同)
 57. これからの展開—緊急支援— 2016 子どもの心と学校臨床, 15, 43-52.
 58. 児童自立支援施設退所者の高校進学後の社会適応過程—複線径路・等至性モデル (TEM) による分析— 2016 犯罪心理学研究, 54, 1-12. (河合直樹らと共同)
 59. 本邦での大規模自然災害における子どもの心のケアに関する文献展望 2016 心理臨床学研究, 34, 557-567. (渡邊素子らと共同)
 60. 児童福祉施設入所時の性的問題とその支援に関する研究展望 2017 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要心理発達科学, 63, 103-109. (米澤由実子と共同)
 61. 山上史野・窪田由紀 (2016). 学生相談臨床とアセスメント—多面的なアセスメント視点の分類と考察—名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要心理発達科学, 63, 135-141.
 62. 『心の教育を考える』—いじめへの対応と心のケア— 2017 京都大学大学院教育学研究科附属臨床教育実践センター紀要, 20, 3-24. (本間友巳らと共同)
 63. 学校危機の予防と支援—学校コミュニティの力を生かす／育むさまざまなアプローチ— 2017 コミュニティ心理学研究, 21, 17-23.
 64. 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践Ⅱ—集団・組織こころの科学公認心理師入門— 2017 知識と技術, 142-145.
 65. 中学校教師が直面する生徒指導上の危機とそのサポート 2017 学校メンタルヘルス, 20, 48-57. (長谷守紘と共同)
 66. 学校の緊急支援とアセスメント 2016 子どもの心と学校臨床, 18, 90-99



窪田 由紀 教授